
-ひとりぼっちのてんし-

ひとりぼっちのてんし


ー天界ー
ちょっと衣玖！
何でいちいち私のやる事なす事ケチつける訳！
ケチではありません…ただこれ以上の地震は下界へ悪影響なのです
いいじゃない♪
神社ならまた建て直せばいいもの
カチン
そういう問題ではありません…今回の件で良く分かりましたが総量娘様は少々ー
我侭が過ぎるかと…


口が過ぎたのは謝ります
ですが私は天人としての
自覚を……
うるさい！
総領娘さま…
と…
随分偉そうに
言うわね…
あんたはただ
地震を知らせに
行けばいいのよ！
竜宮の使いの癖に
天人に口ごたえなんて
生意気だわ！
……
シン。。。


では 下界へ行ってきます


ぷはー!
おー良い呑みっぷりだねぇ
呑まなきゃやってやれません!
何かあったのかい?
何って…
わがままが
すぎますっ
もや〜
別に!何にもありませんよ
プイ
ふーん そう?
ところでいつまで居るんですか
いつまでもいいじゃーん♪
酒に飽きるまでは居るよ



所であの竜宮の使いはどうしたんだい？
さっき降りて行った様だけど
まさかまた地震でも起こすの？
もちろん！
貴女だってここに居れば分かるでしょう？
毎日呑んで踊って遊んで
ホントにつまらないくだらない！
良い所と言ったらお酒が美味しい所位ね
その酒が美味しいってとこだけで十分♪
ここまで来るのは面倒だけど
捨てたモンじゃないと思うけどな



それに
あんたにはあの竜宮の使いがいるから退屈はしないんじゃないの？
まさか！
あれは非常時じゃないとこっちに現れないもの！
ふーん・・そうかい
そんな事はどうでもいいのよ！どんどん呑みましょう！
お！
ざば ざば
のめのめ
わーわー
どんちゃん♪



ぱちっ
…
むくり
…寝てた…
もう夕方近い
小鬼は……
帰ったのかしら?


気まぐれなやつ…
いつ帰るかわからないって言っていたのに…
……つまらない
また一人になった…
衣玖も小鬼も居なくなった…
…他の天人は…信用なんてできない
……だから…地震を起こさないと

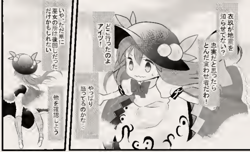


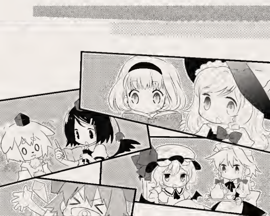
衣玖は無事に地震の事を
伝え終えたかしら
別に衣玖を
見に行くんじゃない
ただ慌てふためく
下界の奴らが見たいだけ!
ただ様子を
見るだけなんだから!



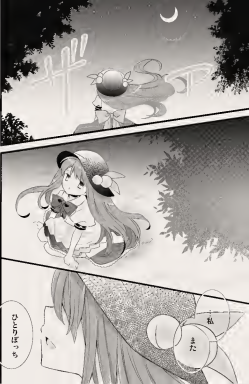
何か用？
有頂天娘さん
ちょっとね
相当根に持ってるな この巫女
あんたが来るとろくなことが無いのよ
下手なことする前に帰ってね
ムッ
そんな事言ってられるのも今の内よ！
ムカ
ムカ
イラ
ムカ
イラ
ココに竜宮の使いが地震を知らせに来たでしょう？
……はい？


あの竜宮の使い？
来てないわよ
あっ！
あんたまさかまた地震起こそうとしてるの？
あっちょっと！
すっ
ちょっと待ちなさいよ～！


衣玖が地震を
知らせてない？
忠実だと思ったら
とんだ食わせ者だわ！
どこ行ったのよ
アイツ！
やっぱり
怒ってるのかな…
いや、ただ単に
巫女の所は後回しだった
だけかもしれない
他を確認しよう




ずーん
全滅…
何よ！
本気でサボってるわね！
もう知らないわ！
勝手にすればいい！
どこ行ったのよ
アイツ…
……


ザァ
…私
また
ひとりぼっち


地震を起こせば
人々は慌てふためき
災いの元凶を断ちに来る
……私を
でもそれが終われば
宴も終い
また元通り
私には何も残らない…
私の傍には誰も居ない
……誰も…



だったら地震を起こすしかない
…でも衣玖が居なくなれば意味が無いじゃない
馬鹿みたい……
…衣玖…
はい
わあああああっ


なななななんでココにいるの…？
え？
下界の果樹園まで
桃を採りに行ってましたが
も も？
あなた地震のことを皆に伝えたの？
あ
そうでしたね…
そういえば忘れていました
ガンッ


すっ
総領娘様が
食べたがっていた
下界の桃ですよ
今日は下界の食べ物を
食べたいと言って
いたので
どうぞ
もひ
もひ
おいしいですか？
なんで地震知らせずに
モモなんか採って来てるの！
あんた私の言う事が
きけないの！
って！
ちがーう！！
コロ、


総領娘様は本当に地震を起こすべきだと思っておいでですか？
あっ
いい加減な理由で地震は起こせません
ぎゅっ
今日だって下界の食べ物が食べれないから地震を起こすとおっしゃられて
うるさい！
何も知らないくせに…
地震は必要よ！
何も知らないくせに…
私は…ずっと
くすっ
またあの子一人よ…


総領娘様
お友達が欲しいんですか?
はぁ!?


なっ ちがっ
ちがうわよ！
馬鹿言ってるんじゃ…
違いましたか？
違う！
私が思うに総領娘様が地震を起こすのは
下界の者に天界へ来て構って欲しいのかと…
かあああ
なっ
ちょ
ぱくぱく
あんた私の心読んだんじゃ…
私が読めるのは空気だけです
墓穴っ
ズギャッ
でもそれでは友達は作れないと…
…？
……
……そうよ！



地震を起こせば誰かが私のところまで来るじゃない！
別に地震を起こしたい訳じゃない！私にはそれしか方法が分からないもの！
下界の人間が羨ましいのよ！誰か居て欲しい！私の傍にも誰か……
だからあんたは地震を伝えてよ！
この子は
下界の人達なら一緒に居てくれるかと思ったの…
私はただ羨ましいだけ
いつもこうやって
一人悩み苦しんでいた
仲間がいて
一緒に笑っているのが
なんとも不器用で


す…
なんといじらしい事か


寂しいときは言って良いんですよ
私でよければいつでも呼んでください
私は離れているときも
霧の中からあなたを見守っていますよ
もう一人で下界を眺めたり
地震なんか起こさなくても良いんです
今みたいに素直に言えば下界の皆だって分かってくれます
だってそんなの…
寂しいなんて言うの…
カッコ悪いじゃない…!


じゃあ今、私にだけ
天子さまの「カッコ悪い所」見せてください
ごめんなさい 不安にさせて
私はどこにも行きませんよ
……
…さみ…しかった
また私の傍から居なくなるかと思って
凄く怖かった…
はい…

−あなたはひとりぼっちじゃない−


総領娘様～
宴会の準備が出来ましたよ
今行くわ！
随分と張り切っていますね
だって下界の人達とは久々の宴会だしね
素直に誘えば皆ついてくるって分かったし！
エヘン


おーい！まだかー？
すぐ行くわ！
ね？


捨てたモンじゃ
ないだろ？

発行日：09/3/8
発行:ねこタンク
責任者：マイトウ
印刷：関西美術印刷、プロス

http://nekotank.sakura.ne.jp/

この同人誌は東方projectの二次創作作品です。